

6月定例教育委員会会議録

1、開会年月日 平成29年6月16日（金）

2、閉会年月日 平成29年6月16日（金）

3、出席委員氏名

名倉 幸子 前川 喜太郎 田中 久善

西畑 敦司

4、委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

教 育 長 森 継 隆

事 務 局 長 仲 谷 俊 充

事 務 局 参 与 西 本 宣 康

事 務 局 次 長 岡 本 匡 史

事 務 局 次 長 吉 岡 昌 則

教 育 総 務 課 長 西 岡 昭 人

生 涯 学 習 課 長 嶋 崎 博 康

文 化 財 課 長 松 本 洋 明

教 育 総 合 セ ン タ ー 所 長 西 田 智 也

教 育 総 務 課 庶 務 係 長 土 田 裕 彦

5、会議に付した議案の件名

日程第1 教育長報告

日程第2 議題

第10号 天理市社会教育委員の委嘱について（案）

第11号 天理市公民館運営審議会委員の委嘱について（案）

日程第3 報告 夏の文化財展について

6、会議の経過議題

開会 午後 1時00分

終了 午後 1時47分

※議題第10号、第11号の質疑の中で個人名が特定できる箇所については、個人情報保護の観点から個人名を特定できない形で表記しています。

1 教育長

皆さん、こんにちは。

ただいまから、6月の定例教育委員会を開会させていただきます。

本日の署名委員は、田中委員と西畑委員をお願いいたします。

それでは、日程第1、私のほうから報告させていただきます。

ゴールデンウィーク最後の日になる5月7日に天理市音楽芸術協会の総会に行かせていただきまして、1オクターブ上がると周波数が2倍になるという説明のほう、そのためにどうしたらいいのかというのを僕のほうでプレゼンをさせてもらって皆さんどのように思われたかわからないのですけれども、一応それも一つかなと思って総会で挨拶をするかわりに紹介させていただきました。

次に、柳本小学校のほうの授業見学というのは参考館と天理市教育委員会と色々な方の協力をいただいて天理の古墳文化を学ぶという冊子をつくっていただきました。それでこれを用いて6年生のほうで授業されるということで、参考館の方も見学に来られたりとかもありましたので、私のほうも行かせていただきました。それについて子どもたちが学習しているところを見せていただきまして、あと国道が古墳の上を通ってるということもそのときに教えてもらいました。

あと13日に子ども大会のほうは今年も行かせていただきました。コフフンのほうで開催していただきまして、いろんな体験のほうをしていただくというのがよかったんじゃないかと思っております。

そして14日のほうは市民体育大会の開会式に出席させてもらいまして、記念大会ということで天理教校のマーチングバンドの演奏も見ました。

そして18日は全国都市教育長協議会が奈良でございまして、各都市の取組を教えてくださいました。

それと27日は櫛本小学校運動会のほうに行きまして、行進のほうを見させてもらって、開会式しか参加できなかったわけですが、礼儀よく整然と開会式をされておりました。

そして29日は教育研究所で教育セミナーという幼小中高全て対象に行われるものなのですが、そこに行かせてもらいまして、京大のアクティブラーニングのほうの研究で有名な溝上慎一教授の講演のほうを聞かせていただきました。その中で印象に残ったのは、この先生がグループでされている学校と仕事と社会をつなぐ調査をされておられて、学んで成長する生徒のポイントというのは授業外学習、豊かな対人関係、キャリア意識、この3つがポイントになってくるのをお話されてました。僕たちが学力の下支えというか、学力の根の部分というのが学習習慣、自尊感情、目的意識というふうに認識して活動していますので、若干表現は違いますが大事なものは学習習慣と自尊感情と目的、キャリア意識、大事なので、その辺のほうをしっかりと子どもたちが身に付けられるようにしたいと思います。

あと、高校教務研究協議会と書いてありますのは10月29日に天理市教育委員会主催で高校の説明会を開催しようと思いましたので、ここ一同に高校の教務支援の先生が集まられますので、学校の説明会担当が教員主任という教務部ということで案内のほうをさせてもらいました。

そして31日は市町村の教育委員長教育長会ということで県の方針、取り組みについてご指導を受けてまいりました。

以上でございますが、何かご質問ございますか。

1 名倉委員

済みません、11日木曜日の子ども若者支援ボランティア委嘱式と
いうのがありますが、子ども若者支援ボランティアという活動の内容
とかはすぐ教えていただけますか。

1 教育総合センター所長

教育総合センターのほうでやっている事業でありまして、夢てんり
というのがあります。ニート、ひきこもりの子どもたち、中学校を卒
業した後、社会になかなか出て来られない子どもたちをどのように支
えているかということで、子ども若者支援ボランティアがありまして、
そのボランティア活動していただく方が登録をさせていただいています。

1 名倉委員

大学生ですか。

1 教育総合センター所長

大人の方です。その方たちに委嘱して地域でなかなか外に出られな
いでいる子どもたちをつないでいくという形をとっていただくボラン
ティアの方です。

1 名倉委員

これ何か資格とかは必要ですか。

1 教育総合センター所長

ないです。

1 名倉委員

わかりました。大体何名ぐらいの登録がありますか。

1 教育総合センター所長

今のところ10名です。

1 名倉委員

わかりました。ありがとうございました。

1 前川委員

13日の子ども大会ですけれども、従来市民会館で開催されてきたと思うのですが、今回駅前も整備されたということで、多少変えられたのだと思いますが、変えられた大きな理由か思いというか、実際にやってみて来年度以降の方向性がもしおありでしたらお聞かせいただきたいのですが。

1 生涯学習課長

そうですね、市民会館のほうで子ども大会ということでやっていたのですけれども、いつもでしたらシニアリーダー、ジュニアリーダーの認定式の後映画を見るという会で終わっていたわけなのですけれども、今回新しく天理駅前にコフフンというのができまして、そこで今まででしたら子ども会のメンバーだけが活動がわかっていたわけなのですけれども、駅前ですので遊んでいる子どもたちもいますので、その子らも参加できるものはないかというところも含めて、あと日程、こういうジュニアリーダー、シニアリーダーの認定式というものもあるということを広くPRするためにさせていただきました。

今後なのですけれども、子どもたちの人数的には子どもさんが210名ぐらいおられて大人、保護者入れて300名程度が集まったということで、そちらのほうで学校教育課の協力を得まして工作教室とかさせていただいたり、来年以降についてはかなり好評だったのでやっていきたい、同じようにもう一度やっていきたいなというのがありま

すけれども、市、子ども会連絡協議会とも調整しながらやっていきたいなというふうに思います。

1 教育長

よろしいですか。

1 前川委員

市民会館ですと確かにおっしゃるのように、参加者だけしかこの大会はわからない部分は確かにあると思います。それで開かれたと言いますか、駅前であればたまたまその場所に来られた方もこういうことをされているのだなというの、すごく啓蒙、啓発する意味では確かに場所変えて一つの成果としてあったのかなというふうにも思います。

また今後よろしくお願ひしたいと思います。

1 西畑委員

それに関連して私も行かせていただいて見せていただきましたけれども、もうちょっと誰でも入っていいよという雰囲気を出していただければもっとよかったかな。確かに場所的に行きやすくて、みんな前通る人は何をやってるのかなというので、のぞいては、いるのですけれど、自分らが入っていてもいいのかな、どうだろうかと言ってちょっと構えておられた人も、それに呼ばれてる人だけじゃなくてもっとそこで遊んでる人もみんな入っていいですよというようなアピールをしたらもっと今度参加者がふえるのではないかなと思います。

1 田中委員

先ほど、高校入試の説明会とおっしゃったのですが、これ主催はどこなのですか。

1 教育長

天理市の教育委員会です。

1 田中委員

新しい取り組みですか。

1 教育長

初めて行います。

1 田中委員

今まで進路指導の関係で県のブロックにわけた説明会はあったのですが、それとは別にされるのですか。

1 吉岡事務局次長

これは公立の高等学校で、県立高校の説明会です。

教育長に教務部の先生方の会合に行ってもらって、こういう意図でこういうことを予定していますということはお知らせいただきましたので、どれだけの高校が参入していただけるかは、わかりません。

中学の生徒と保護者対象の説明会で、合同企業説明会みたいな形でブースつけてそこにやってくるという形で行います。だから保護者と学生さんが来て聞いてみようかということを書いてもらえるような、駅前だったら交通の便もいいので、そういう形で行います。

1 教育長

大体20分くらい説明してもらって、10分ぐらいで質疑応答して、3回繰り返してもらったら最高3校聞けるというものです。

1 田中委員

画期的なことだと思う。違う観点ですね。いいと思います。

1 西畑委員

実際、保護者の立場から見て今の公立高校でもいろいろ特色が出て

いるのが、実際どんなところなのかっていうのが全然わからないまま、高校の進路っていうようなところに携わっていくようなことがあって、細かいこと聞きたいなと思ってもやっぱり一緒に聞きに行けないっていうのがあって、何かおもしろそうなことやっているけど、うちの子どもに向いているのかなというのも、もう一つわからなかったところがあります。そうやって、あまり知らなかったけれどもというようなところまで、ついでに聞いてみようかなということができるとがすごくありがたいことです。

1 教育長

日程第1はこれで終わりにします。よろしいですか。

それでは日程の第2ということで、議題の第10号、天理市社会教育委員の委嘱についての説明を生涯学習課お願いします。

1 生涯学習課長

それでは議題第10号天理市社会教育委員の委嘱について案の説明させていただきます。

社会教育委員の任期につきましては、平成29年7月9日をもって2年の任期が満了となりますため、向こう2年間、平成29年7月10日から平成31年7月9日までの任期の委嘱を今回の教育委員会で上程いたします。

委嘱する委員の方々を紹介させていただきますと、上から8名の方は市議会、区長連合会、校園長会、商工会、体育協会、民生児童委員協議会、子ども会指導者連絡協議会、PTA協議会の8つの団体からの推薦と、下から3名は学識経験者による11名で構成されております。

まず市議会からは引き続き堀田議員の推薦がございました。

次に区長連合会からですが、島田委員にかわりまして柳本校区区長会長の森田様のご推薦がございました。

次に校園長会は朝和小学校校長の松浦様、商工会の藤山様、体育協会の西野様、民生児童委員協議会の岡本様、子ども会指導者連絡協議会の坂口様、PTA協議会の西口様がそれぞれ団体から引き続き社会教育委員としての推薦がございました。

次に西本様から東様まで3名の方なのですが、学識経験者といたしまして、前回から引き続きお願いをしています。

以上が委員の紹介でございます。

次に今までの社会教育委員の審議ですが、前回の委員会でご質問させていただきました公民館のあり方についてのアンケート調査及び結果の検証について提言をまとめてまいりました。

今後の課題については、議長と協議してまいりたいと思います。

以上、議題第10号の説明とさせていただきます。

1 教育長

ただいま説明につきまして何か質問ございますか。

1 名倉委員

社会教育委員さんの再任の方で大体長い人って何年くらい務めておられますか。

1 生涯学習課長

社会教育委員で一番長い方で24年くらい、次いで、学識経験者の方で10年ですね。あとは2年とか1年とかですね。

1 名倉委員

委員さんがこれだけおられたら、いろんな意見が出ると思うのですが、ある程度の期間を超えないほうがよろしいのではないかなと、やはりまた違った世代を入れられて、また新しい意見など入ってきやすいように構成されてはいかがですか。

1 生涯学習課長

そうですね。

1 名倉委員

そういうことも考えられて最長何年とか、決めるのではなくて、ちよつと意識されたらいいのではないかなと思います。

生涯学習課長

組織に依頼して、推薦が挙がってくる形になりますので、また検討させていただきます。

1 名倉委員

はい、ありがとうございます。

1 西畑委員

学識経験者の3名の方、学識経験者というのはどういう観点で選ばれたのかっていうのを教えていただきたいです。

1 生涯学習課長

まず一人の方ですけれども、もともと市職員でございまして、こちらの社会教育委員さんを今回で10年くらいやっておられますので、その経験を生かしてということでございます。

もう一人の方は経済連のほうでちょっといらっしゃったということとでその経験というところでございます。

あと一人の方に関しましては、先代の生涯学習推進委員さんのほう

から挙げていただいているというところでございます。

1 西畑委員

結構年齢のいっておられる方なので、先ほど名倉委員のほうからも話がありましたけれども、新しい意見を活発に出していただけるように、というのを考えていただければと思います。

1 教育長

ご質問ございますか。

了承していただきますか。

1 委員一同

はい。

1 教育長

そういうことで、天理社会教育委員の委嘱案のほうは、了承することになります。

次に議題第11号、天理市公民館運営審議会委員の委嘱について、引き続き生涯学習課長よろしく申し上げます。

1 生涯学習課長

それでは議題第11号、天理市公民館運営審議会委員の委嘱について（案）の説明させていただきます。

この公民館運営審議会委員の任期につきましては、平成29年4月13日をもって、2年の任期が満了となりますため、向こう2年間平成29年4月14日から平成31年4月13日までの任期の委嘱を今回の教育委員会で上程いたします。

委嘱にする委員の方々を紹介させていただきますと、上から8名の方は各団体のほうに推薦の依頼をし、推薦をいただいた方ございま

す。まず市議会からは、前回に引き続きまして廣井議員の推薦がございました。

次に区長連合会からですが、島田委員にかわりまして柳本校区会長の森田区長のご推薦がございました。

次に校園長会ですが、西田委員にかわりまして、西中学校校長の高山先生のご推薦がございました。

次に生涯学習推進員連絡協議会からは、引き続き藤田様、市芸術協会からは桐山委員にかわり、川畑様。

市芸能協会からは、中西委員にかわり中村様。

市子ども会指導者連絡協議会からは、谷脇委員にかわり、坂口様の推薦がありました。

市PTA協議会からは、引き続き菅野委員の推薦がございました。

次に学識経験者として、10名の方でございしますが、上から9名の方は各校区の公民館長から学識経験者としてふさわしい方を、推薦という方法で採用しています。再任、新任の別は、再任が6名、新任が3名となっております。新任といたしましては、丹波市公民館から中島委員にかわり、中寫様。前栽公民館からは安井委員にかわり、中尾区長様。柳本公民館から久徳委員にかわり、森脇区長様の推薦がございました。最後の佐藤さんですが、教育長推薦となっております。

以上委員の紹介とさせていただきます。

最近の主な公民館運営審議会での取り組み内容ですが、公民館への物品販売については、今までは公民館祭り等以外は厳しく制限がございましたが、その規制を緩めて、櫛本公民館での物品販売を行えるよう協議が行われました。また公民館での食事についても規制緩和の話し

合いが行われました。今後の公民館運営審議会で審議ですが、社会教育委員で報告された公民館のあり方についてのアンケート調査及び結果の検証についても、制限についてや、引き続き公民館での規制緩和、運用について考えていけたらと考えてます。

以上、議題11号の説明とさせていただきます。

1 教育長

今の説明に関しまして、何かご質問はございますか。

お願いします。

1 西畑委員

学識経験者というところで、上から9名、各校区の方っていうのは、理解できたのですが、もう一人の方は、どのような経緯で依頼されたのですか。

1 生涯学習課長

その方は、長年にわたり公民館運営審議会に出席いただいていたというところでございます。それで、今回も教育長推薦という形で挙げさせていただいています。

1 教育長

よろしいですか。

1 名倉委員

櫛本を皮切りにやはり、公民館をより身近な公民館として活用するために、これからどんどん規制緩和というのが、もっと進んでいくかなと思うのです。今までの常識にとらわれない公民館の利用方法と、より地域に密着した、みんなに来てもらいやすい公民館というのを目指して、櫛本のマチカ塾で小学校が利用しているように、今までそん

な公民館で、子どもたちが勉強するっていうのは考えられなかったと思うのです。いろんな観点から見て、大きなくくりでみんなで利用するっていうことで、また、いろんな意見を出し合って考えていっていただきたいなと思います。特に何か、ほかの公民館でこういう議題が挙がっているとか、別に今のところはないですか。

1 生涯学習課長

ほかの公民館で、当初は続いてほかの公民館も、こういうことをやっていきたいとなるかなというところがございましたけれども、現在のところは、ございません。緩和というのですか、今サタデースクールというのが、櫛本公民館と式上公民館のほうでやっておりますので、子どもが公民館に集まる場としては、利用させていただいています。

1 教育長

ほかにご意見ございますか。

ただいま提案された天理市公民館運営審議会の委員の委嘱については、了承してよろしいでしょうか。

了承することといたします。

次に日程第3、夏の文化財展について、文化財課、よろしくお願ひします。

1 文化財課長

では、文化財課のほうから報告ということで、夏の文化財展について説明させてもらいたいと思います。

お持ちの資料の後ろ20ページの次ですね。ページ数は打っておりませんが21、22とカラー刷りの資料があります。その最初のページを見ていただきたいのですが、ご存じだと思いますけれども、朝和校

区の大和神社というのがございまして、この大和神社、毎年4月1日にちゃんちゃん祭りというお祭りを行っているのですけれども、このお祭りについて、この夏の文化財展で市民の皆さんに紹介したいということで、今見ていただいていますのは、平成29年度夏の文化財展のチラシということになります。

テーマは「大和神社ちゃんちゃん祭りの記録と伝承」ということで、こういうチラシと同じようなポスターをつくっておきまして、これから地元のほう、あるいは地域のほうへお配りしていこうかということになっています。

このポスターに載っています絵図なのですけれども、これは、平成27年から民俗調査ということで、ちゃんちゃん祭りを調べておりまして、そのときにイラスト図画っていうのが一つポイントになっておりまして、それを一部こういった形で、チラシに載せさせていただきました。内容ですけれども、まずちゃんちゃん祭りをを行う期間ですけれども、7月1日の土曜日から7月23日、日曜日にかけてですが、会場は、天理市の文化センターの1階の展示ホールで行う予定にしております。

ここは月曜日が休館日になっておりまして、また海の日も休館日になりますので、休館日以外は開館して行うという予定にしております。

こちらのほうで、ちゃんちゃん祭りに伴います主に写真が中心になります。それから3体ほど、人物代の人形をつくっておきまして、地域の方の協力を得て、白い浄衣の服をお借りして、烏帽子をかぶらせて、ちょっとお祭りをしているスタイルを出そうかというふうに考えております。

このチラシの絵図なのですけれども、上と下に子どもさんの絵が描いています。ちゃんちゃん祭りは「頭人児」といって、男の子を出すお祭りで、その男の子の着る白い浄衣の服、衣装をこういった形でイラストで前の正面と背中という形でしています。ちゃんちゃん祭りは、朝和校区の佐保庄、それから三昧田、萱生、兵庫、長柄、それから成願寺、新泉、それから中山、岸田と9つの大字がかかわっております、その9つの大字から頭屋が出まして、その頭屋が頭人児を用意して、神様の使いということで、子どもを出すのですけれども、成願寺と中山は子どもは出さないという、何か特別な意味合いを持った地域になっております。そういった形で、頭人児の姿が大字によって違いますので、そうしたイラスト。

それからその下にありますイラストの三昧田町の頭人児の下には、長柄のゴヘイハサミってありますけれども、ちょうどここには頭屋が1年間お守りする神棚なのですけれども、こういったものを頭屋は預かって、地域によっては一年間床の間に飾って、毎日、水とお米を与えるという、そういった形でお守りをして、神事を行うということです。

それから、その下のほうですけれども、牛の舌餅とか、成願寺のホッカイって書いてありますけれども、成願寺町ではたくさんの牛の舌上のお餅を200枚、260枚つくり、それを成願寺に奉納するのですけれども、その奉納するための入れ物がこの成願寺ホッカイといわれて、中に入れてあるこの絵図にも書いてありますけれども、その中には真ん中に、銀の水筒も入っております、お酒を入れてあるのですが、そういったものを奉納します。

それから長柄の門飾りですけれども、こういった門飾りを頭屋がつ

くるということで、こちらでは長柄の門飾り、それから上のほうでは佐保庄町の門飾り、それから右端のほうでは中山町の門飾りと、地域によって門飾りの形が違うものですから、そういったいろんな門飾りも、平成29年度夏の文化財展の文字のあたりには、「御幣」といひまして、これに神様が宿るものです。シデのことなのですから、そういった絵図も入れておきまして、皆さんにこのチラシを特に朝和校区のほうには各世帯に回して、ぜひ見に来ていただこうということをつくっております。

その下のところですが、赤文字で鑄造体験とあります。これだけは、ちゃんちゃん祭りとは違うのですが、三角縁神獸鏡の鑄造を体験できる材料、道具を今発注しております、予定では7月の始めぐらいにでき上がってくる予定になっておりますので、内容は、ちゃんちゃん祭りと全く違うのですが、ちゃんちゃん祭りの会場で一角を使って、一応これは申込制にしているのですが、申し込みで来ていただいた方に、鑄造を体験していただこうということで、チラシに入れてあります。

一応こういった形でチラシをお配りして、また県内あちこちの文化財関係、教育委員会関係のほうに大きなポスターをお配りしようと考えております。

ちなみにいい機会ですので、次の2枚目なのですが、ちゃんちゃん祭りの簡単な写真を入れさせてもらっています。ちゃんちゃん祭りは、お聞きになった方はおられると思います。なかなか朝和校区まで行かれて見に行くという時間はないと思います。私も結構皆さん見に行くのかといったらそうではなくて、興味のある方、地域でもその祭りに

当たっておられる方が来ているという、そういう状況が見えてきたのですが、ここでは実は、ちゃんちゃん祭りは4月1日に大和神社から御旅所までお渡りがあるということが、お祭りのクライマックスとなっています。でも、お祭りは、実は10日ほどにわたって行われるということになっています。その一番目の一番ですけど、頭屋で引き継ぎ式というのが書いてありますが、成願寺と書いていますけれども、頭屋は1年任期になっていまして、その頭屋が前の頭屋から、来年はよろしくお願ひしますという、そういう引き継ぎをするのですが、一部やっぱり長柄町とか、成願寺町では、古式なやりから、昔からのやり方を古いしきたりにのってやっている習慣がありまして、ほかは皆形骸化して、簡単で箱を渡すだけにしているのですけれども、成願寺町のこの風景では、実は、その年の、頭屋の床の間の部屋に、3人の方、女性の方も含めて、左側に3人の方座っておられますけれども、真ん中に仲人の方、年長者を置きまして、その向こうの女性の方は、ことし頭屋を務めた奥さん。それから手前の方は、来年頭屋を務められる方という形で、頭屋の申し送りというのを、仲人を通してやっている、その右側に座っている、背中を向けて座っている白装束の方は、この若者なのですけれども、こういうときに、お酒の祝杯をして、引き継ぎをするという、そういう古いしきたりでございます。

それから2番目は、宮入りといひましてこの3月23日頭屋の方が頭人兎を連れてお参りをします。このときからちゃんちゃん祭りが始まります。これはちょうど大和神社の拝殿に参拝されておる場面なのですけれども、これは頭屋と頭人兎です。前に棚が置いてあって、その棚のところに白い袋が乗せてありますけれども、そこにこれからお

飾りをつくるための道具類が入れてあるというわけです。お参りを
して宮司さんから、この道具類一式をもらって持って帰るということ
になります。

帰りますと3番目なのですが、門飾りといひまして、頭屋さんの自
宅の前にはこういうクヌギの割行台にしまして、その上に台座を置い
て、お社を飾るといひのですね。これが3月の23日の後、各頭屋さ
んのお家の前でこういうものを準備されて、大和神社の分霊がここ
に入ってくるというようになるのですけれども。そして、大和神社のち
ゃんちゃん祭りが終わるまで、これを飾っておくといひます。

そしてその下、4番目は宵宮お渡りと書いてあります。3月31日
なのですけれども、いよいよちゃんちゃん祭りの本番の一つなのです
けれども、各大字のその年に当たっておられる頭屋とそれからお祭りに
係る関係者の方々が皆さんが白の浄衣姿、烏帽子、それから頭屋に関
係しましては羽織はかまという姿で、それぞれ大字の旗をもって、こ
れは長柄町なのですけれども、長柄という旗を持っているのですが、
そして2番目の方、白いものが、垂れ下がってますけど、これが御幣
なのです。それを持って大和神社のほうへ参拝していくということ
です。

その御幣というのが5番目になるのですけど、2種類ございまして、
上に写っている羽織はかまの方が持っている御幣が竹の御幣です。こ
れは、31日までに自分のところの頭屋さんが用意されて、そして旧
年の神様を宿らせたシデを大和神社に持っていくと。そして、お参り
しますと今度は、右側に白装束の方が御幣を持っている、板の御幣な
のですけども、これを大和神社からいただいて、新しい祭礼が宿るシ

デということで、産子幣というのですが、それをもらって次の日のちゃんちゃん祭りに挑む。そういうふうな神様の切りかえを、ここで交換が行われるという、そういう意識がこの宵宮祭のときにございます。

そして、6番目ですけれども、4月1日、午前中は大和神社で神社の祭典があるのですけれども、終わった後、午後から各大字の方々が皆さん集まってきて、この御旅所というところなのですが、これはちょうど山の辺の道があります中山町のところなのですけれども、その一角の御旅所に大和神社からお渡りをしていくという。この赤い社殿は、その若宮社という大和神社のお祭りをしている社でございます。ここに皆さんが集まって、お渡りの行事が行われると。

そして7番目ですけれども、これはその一場面ですが、ここは中山町ですので、中山町が仕切っていて、非常に重い仕事なのですが、中山町の方は皆さんの各大字が持ってくるお供え物を受付して、そして神社のほうに奉納していくということになっています。そういった形で、この場面は、中山町が自前で持参したものを奉納する場面というような形が写されています。

そういった形で、3月の23日の宮入りから4月1日まで、お渡り行事が行われるまで、およそ10日間にわたって、ちゃんちゃん祭りというのは、続けられるという場面なのです。

多くの市民の方に見ていただいているのは、この4月1日のお渡りが、お馬さんが出たり、あるいは、よろい甲冑を着られたり、それから、市長も参加されます。かつては官幣大社のそういう神社庁から来られた方がおられたのですが、その方々の順番に今、市長がかわって入っておられるという形で、参加されているということで、一応そう

いう流れでちゃんちゃん祭りが展開します。そういったものを市民の方に見ていただくということで、一応7月1日から7月23日までですけど、文化センターで展示をいたしますので、またお時間がございましたら、どうぞまた見に来てください。ただ今回はちょっと写真ばかりが多過ぎて、ちょっとみすぼらしいかもしれませんが、どうぞよろしくお願いいたします。

1 教育長

ありがとうございます。

ほかにご質問のほうはございませんか。よろしいですか。

はい、どうぞ。

1 西畑委員

23日のこの鑄造の体験ですね。これは先着5組までということで、計10組の方に限っているということなのですが、10組っていうのがどこから出てきた数字ですか。

1 文化財課長

そうですね、実は鑄造の体験なのですが、道具がちょうど5種類ほどございまして、鏡の種類なのですが、実は1つの鑄造をしますのに、1人1時間ほどかかります。ちょっとこう100度ぐらいで溶ける合金がありまして、それをホットプレート、フライパンで溶かしまして、溶かしたやつを流しいれて、それで固まって、熱が冷めたところで鑄型を外して、外した鑄型からこの出したものを、今度はやっぱり流し口の入り口からつながっていますので、そういうのを切り落として、そして、それを今度はつやを出す材料がありまして、そのつや出しをしてもらうという、その工程が実は1時間かかるものですか

ら、余りたくさんの方が来られても、道具のほうに数の限りがありますので、たくさんできないということで、申込制で5組という形で、この7月に入ってから、予約をとる予定にしております。

1 西畑委員

たくさんやりたい子が来そうな気がするのです。

1 文化財課長

そうですね。それはまだ。

1 西畑委員

今回、発注されて初めてということで、ちょっとお試しというところもあるのだろうなとは思っています。

1 文化財課長

そうですね、はい。

1 西畑委員

またちょっとやれる人をふやしてあげてほしいなというのを。

1 文化財課長

そうですね、うまくやっていけるように、努力したいと思います。

1 西畑委員

それから、これは1日から23日という結構長い期間で展示されますけれども、昨年も文化財展、やっておられるのですよね。

1 文化財課長

そうです、はい。

1 西畑委員

昨年は、その期間の間に何人の利用者さんがおられましたか。

1 文化財課長

そうですね、入園者ですけれども、ちょっと今、頭の中にありますのは、大体、1期の開館で大体1,000人から1,500人ぐらいの来館者があります。夏と冬に文化財展をしていますので、大体年間3,000人ぐらいの入館者を多いときは得ています。その中に、日曜日ですけれども、その展示の講演会をしたりしています。

今回はちょっと23日は少し、短いのです。本来ですと7月末まで、かけたかったのですけれども、文化センターの多くの市民の方もご利用があるものですから、その合間をとってやるということで、今回23日に置かせてもらいます。

1 西畑委員

今回は、何人のご来場を見込んでおられるのですか。

1 文化財課長

そうですね。今回は、そうですね大体、1,000人ですから、1,500人ぐらいは入っていただければ、こちらとしてはありがたいのですが。冬も同じぐらい入られて、何とか3,000人ぐらいの実績をつくっていきたいというのが、一応目標です。

1 西畑委員

この文化財展に限らず、文化センターの展示ホールのところで、催し物を結構やっておられるのをお見かけするのですけれども、何かやっているけれど、入りにくいなっていう雰囲気はどうしてもあるので、すね。ホールだけじゃなくて、ホールの内部のところの、展示ホールの前のところ、ロビーみたいなところまで、少し展示を広げられたら、何かおもしろそうなものやってるな、じゃ、のぞいていこうかなっていう気も、なってくるかなっていうのがあるので、やっぱり配置とか、

そこら辺使用の許可とかいろいろあるかもしれませんが、考えていた
だけならなと思います。

1 文化財課長

ありがとうございます。

1 教育長

ほかに何かご質問ございますか。

よろしいですか。

それでは、全部終わりましたので、これをもちまして、本日の定例
教育委員会を閉会いたします。

どうもありがとうございました。

閉会 午後 1時47分